



実りの秋！努力次第で伸びしろ大！

校長 石踊 晴元

朝夕肌寒く感じられるようになりました。校庭に出ると、金木犀の甘い香りが漂ってきます。秋の深まりを感じられる今日この頃です。

先日は、学校農園で澱粉用の「しろゆたか」と食用の「べにまさり」を収穫しました。昨年以上の収穫で、まさしく「実りの秋」に、子供たちはもちろん、さつまいも栽培に関わったすべての方々も大喜びでした。

「実りの秋」はさつまいもの収穫だけではありません。学校では、教育活動での「実り（結果）」が大切です。子供たちは、「スポーツ」「勉強」「読書」「芸術」等、意欲的に取り組み、着実に実力を定着させています。

5・6年生は町小学校陸上記録会に向けて、約2週間出場種目の練習に取り組みました。大会当日のリレーでは、見事なバトンパスで好成績を収めることができました。また、町音楽発表会に向け、子供たち全員で合唱・合奏の練習に取り組んでおり、日に日に上達しているのが分かります。

3年生以上の8名は、わくわくフェスティバルに向け、本年度も神舞保存会の協力をいただき、3・4年生は「鬼神舞」、5・6年生の男子は「多力鬼神舞」、5・6年生の女子は「吉野神師」に挑戦します。まだ3～4回の練習ですが、概ねそれぞれの舞いを覚えることができました。これらの取組や結果から言えることは、質の高い取組をすれば、子供の「伸びしろ」は大きくなるということです。宮本武蔵の言葉に「千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を錬とす」があります。何事にもコツコツと努力し、伸びしろを大きく伸ばすことで、本校の校訓である「自信と勇気をもて」に繋がると思います。



体験・経験の豊かさが人生の糧となる！

本年度、51年ぶりに、鹿児島で国体が開催されました。11日（水）、手作りした応援手旗を持ち、全員で南大隅町の根占自転車競技場で行われたトラックレースの観戦に行ってきました。フラットな走路を全力でこぐ選手、すり鉢状になった走路を転倒することなく走る選手等、直接目にするのができ感動を覚えました。

15日（日）に行われた自転車ロードレースは、全てのレースを田代小学校前で観戦しました。アップダウンの厳しいコースを経てゴールする女子選手、さらに3周、4周する男子選手にも声援を送りました。ロードレースも初めて観戦し、過酷なレースに果敢に取り組んでいる姿は、私の心を打つものがありました。

私は白波スタジアムで開催された総合開会式に出席してきました。オープニングプログラム、式典前演技では、完成度の高い発表を目にすることができました。この日のために、細かいところまで練習したことが想像できました。式典では、天皇・皇后両陛下のお顔を拝見することができました。また、選手団激励メッセージでは、アーティスト長洲剛氏の声と歌を生で聴くことができました。国体の総合開会式に出席できたこと、居住地の近くで開催された国体競技を観戦できたことは、貴重な経験となりました。きっと子供たちにとっても貴重な体験になったと思っています。いろいろな体験や経験が、人生を豊かにすると思います。体験・経験の豊かさが人生の糧になると思いますので、いろいろなことにチャレンジし、知識や技能の蓄積に繋げてほしいと願っています。

